

# 恵泉女学園大学 資格取得の達成感がさらなる意欲を引き出す

「聖書」「国際」「園芸」を教育の3本柱に、平和に貢献できる広い視野を持った女性を育み続ける恵泉女学園大学。情報リテラシーにも力を入れる同学では、2006年よりMicrosoft® Office Specialistの対策講座と学内試験をスタートし、同時に資格を単位に認定する制度も導入しました。

本稿では、恵泉女学園大学、事務局長の佐藤幸一さんとメディアセンター メディア課の課長、賞雅郁子さんに同学の取り組みについてうかがいました。

## WordやExcel®のスキルを磨く選択科目を設定

——資格取得のレベル達成を一つの目標に

ブラウンの外壁が温かい印象の学びの棟、年間を通じてさまざまな行事が催される美しいチャペル、四季折々の草花が植えられたハーブガーデン——。恵泉女学園大学のキャンパスは、多摩丘陵の豊かな緑のなかに伸びやかに広がっています。「聖書」「国際」「園芸」を教育の3つの柱に、「聖書」では愛と奉仕の心を、「国際」では平和と相互理解の心を、そして「園芸」では、命と自然を慈しむ心を学ぶことを教育理念とし、創立以来80年にわたり、平和に貢献できる広い視野を持った女性の育成に力を注いできました。こうした教育内容に基づく「体験学習」と「生活園芸」は社会的にも高く評価され、2006年、2007年と、2年連続で文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」にも採択されています。

その一方で恵泉女学園大学は、教育研究環境の情報化整備にも早くから取り組んでいます。1997年に設立されたメディアセンターが中心となって、情報メディア教室、AV・LL教室、情報AVライブラリーなどの施設の整備や、学内のほぼ全域で使用可能な無線LANの設置など、情報教育や研究環境の整備およびサポートを実施。このような取り組みは、「平成17年度版 私立大学情報環境白書」(私立大学情報教育協会)の「女子大学グループ情報化ランキング」において、情報機器・施設部門で46大学中9位にランクされるなど、外部からも高い評価を受けています。

さらに同学では、1997年度より「情報科学基礎」が1年生全員必修とされており、初めてパソコンに触れる学生でも、コンピュータとネットワークを使いこなす知識や技能を習得して体系的な情報処理能力が身につくようきめ細かな指導を行っています。そして、2005年の学部改編を機に、カリキュラムのうえでも情報系の科目が拡充され、全学部共通の「キャリアデザイン科目群」に「プレゼンテーション技法」「Webデザイン」「情報化社会論

といった、社会に出てからも活用できるコンピュータスキルと情報処理能力を身につけられる科目が整備されています。

上記の「キャリアデザイン科目群」のなかには、WordとExcelをより実践的に使いこなすための『情報科学応用A・B』も設置され、この授業の履修によって、Microsoft Office Specialistのスペシャリストレベルの知識と技能を習得することが一つの目標となっています。恵泉女学園大学 事務局長の佐藤幸一さんは、マイクロソフト認定資格の導入について次のように説明します。

「『情報科学応用A・B』は、決して資格の取得を目的とした科目ではないのですが、そのレベルのスキルを身につけることを一つの目安にしています。また、この授業は定員制のため、ほかの授業と重なって選択希望の学生が受けられない場合もありますので、上記科目を履修しないで自力で資格を取得した学生には、単位を認定する制度も設けています。さらに、2006年には試験会場登録も行い、学内で試験を受けられる環境も整えました。これは、慣れた学内で試験を受けられることで、情報系の資格にチャレンジする当校の学生の励みになるのではないかと考えたからです」

## 短期集中講座で達成感を持たせる

——手厚い指導体制は学生からも高評価

講座については、夏休みにWord、秋学期の末にExcelが短期集中で開講されており、講座の1日目は、学内での課題や卒論作成のスキルを身につけることを主題にしたパソコン講習会、2日目からはMicrosoft Office Specialistの対策講座を2日半行って、4日目の午後に試験を受けるという流れで実施されています。そして、この、パソコン講習会と対策講座と試験は、それぞれ申込みが別になっているため、学生は自分

## Office系のソフトを習得するメリット

——道具として使いこなすために

どのような職場であれ、社会に出たら使うことが必須と言われるOffice系のソフトですが、人文系の女子学生にとっても、学生時代にそれを使いこなせれば大きなメリットになると賞雅さんは言います。

「授業で課題を提出する場合も、手書きよりWordで作成したデジタルデータのほうが見やすいですし、2006年に文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」にも採択された当校の海外体験学習プログラムなどでは、学内・学外、そして海外で発表の場がありますので、その際にツールとしてPowerPointを使いこなせれば、自分の言いたいことが表現でき、相手にとってもわかりやすい内容になるでしょう。それと、人文系の授業ではさほど必要でないと思われる統計的なものの考え方や情報処理についても、例えば、「数学」の初歩の段階で陥るようなつまづきを感じることなく、Excelが使えれば統計のデータ処理などは難なくできるようになります。こうしたスキルを身につけておくことは、将来的にも彼女たちのチカラになっていくと考えています」

また、実際にOffice系のソフトの利用スキルを身につけて、取得した資格が就職活動のなかで採用に結びつくこともあるとのこと。そして、そのような情報を学生が就職室に報告し、それが学生の間に広まっていくという良い循環も生まれつつあるそうです。

「今後は、学生の要望もありますので、Word、Excelのエキスペートレベルや、PowerPointの対策講座・試験の導入も検討していきたい」と語る賞雅さん。

メディアセンターは、これからも学生の意見に耳を傾けながら、より学生のためになる情報教育およびその環境整備を追求し、支援を続けていくことでしょう。



多摩丘陵に位置するキャンパス。敷地内には、約30種のハーブと約80種の草花が植えられた「ハーブガーデン」も併設

の希望に合わせて、対策講座と試験のみ、あるいは試験のみ受けることも可能になっています。

こうした取り組みに伴い、メディアセンターでは、毎回講座の前と後に学生にアンケートを実施しています。講座前には、これまでどのような勉強してきたか、どんなソフトを使ったことがあるかなどを聞き、講習会の内容を定める際の資料として使用。

そして、事後のアンケートは次の講習会・講座の参考にしていくそうです。メディアセンターのメディア課 課長の賞雅郁子さんは、学生からの回答結果について次のように説明します。

「アンケートの記述内容で多いのは、『先生がやさしかった』『教え方が良かった』『指導が手厚い』などです。講師は外部のパソコンスクールに委託していますが、メインの先生のほかに必ずサブの先生を2人配置しますので、定員40名に対して3、4人先生が付くことになります。加えてメディアセンターからもサポート人員が入りますので、手を挙げればいつでも近くの人が必ずフォローできる体制を採っています。それが、アンケート結果にも表れているのかもしれませんが。そのほかに多いのは、『慣れた環境のなかで受けられるから、落ち着いてできる』という意見。いつも勉強しているキャンパス内で、見慣れたメディアセンターのスタッフが見守るなかで受講・受験できるのは、学生にとって安心できるのだと思います」

そうしたきめ細かい指導体制もあり、合格率は毎回ほぼ100%。賞雅さんは、資格取得という結果を得ることによって、学生たちは達成感を得て、それが自信にもつながっていると言います。

「2日間みっちり対策講座を受けて、2日目の後半から3日目の前半はひたすら模擬試験の繰り返し。“こんなに集中してやったことない”というくらいにトレーニングさせます。でも、すぐに資格取得という結果が出るので達成感を持てる。それは彼女たちにとって貴重な体験になっていると感じています。例えば、Excelに苦手意識を持っている学生がWordに受かると、“やればできる!”と認識して、Excelの資格も挑戦してみようとなる。そしてExcelに受かると、今度は“エキスペートレベルやPowerPoint®の試験も実施してほしい”と、どんどん意欲を出してきてくれます。そのような学生の変化を見ると、こちら嬉しくなりますね」(賞雅さん)

## 恵泉女学園大学 <http://www.keisen.ac.jp/univ/>

所在地 東京都多摩市南野2-10-1  
学生数 約1800人

恵泉女学園は、日本YWCAの創設に尽力して最初の日本人総幹事となった河井道が1929年に設立。恵泉女学園大学は人文学部(日本語日本文化学科、英語コミュニケーション学科、文化学科)、人間社会学部(国際社会学科、人間環境学科)の2学部5学科と大学院2研究科(人文学研究科、平和学研究科)で、構成されている。「自己を尊重し、人種や階級に関わりなく他人を尊重すること」「日本女性が世界を知り、偏見をなくし、それに対峙すること」「自然を慈しみ、生命を尊び、人間の基本的なあり方を学ぶこと」という河井道の言葉に基づき、「聖書」「国際」「園芸」を3つの柱とした教育を展開。



取材ご協力  
恵泉女学園大学  
大学事務局 事務局長  
佐藤 幸一さん



恵泉女学園大学 メディアセンター  
メディア課 課長  
賞雅 郁子さん